



平成30年3月期 第3四半期決算短信(日本基準)(連結)

平成30年2月9日

上場会社名 株式会社 シード
 コード番号 7743 URL <http://www.seed.co.jp>
 代表者 (役職名) 代表取締役社長
 問合せ先責任者 (役職名) 取締役管理本部長
 四半期報告書提出予定日 平成30年2月9日
 配当支払開始予定日
 四半期決算補足説明資料作成の有無 : 無
 四半期決算説明会開催の有無 : 無

上場取引所 東
 TEL 03-3813-1111

(百万円未満切捨て)

1. 平成30年3月期第3四半期の連結業績(平成29年4月1日～平成29年12月31日)

(1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
30年3月期第3四半期	20,869	14.5	1,510	20.4	1,569	36.1	1,063	52.2
29年3月期第3四半期	18,227	13.2	1,254	111.8	1,153	113.9	698	147.3

(注) 包括利益 30年3月期第3四半期 1,326百万円 (18.6%) 29年3月期第3四半期 1,118百万円 (481.8%)

	1株当たり四半期純利益	潜在株式調整後1株当たり四半期純利益
	円 銭	円 銭
30年3月期第3四半期	127.49	
29年3月期第3四半期	83.75	

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率	1株当たり純資産
	百万円	百万円	%	円 銭
30年3月期第3四半期	32,806	10,096	30.8	1,209.98
29年3月期	29,222	9,007	30.8	1,079.39

(参考) 自己資本 30年3月期第3四半期 10,096百万円 29年3月期 9,007百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
29年3月期		0.00		27.50	27.50
30年3月期		0.00			
30年3月期(予想)				27.50	27.50

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

注) 平成29年3月期期末配当金の内訳 普通配当22円50銭 記念配当5円 設立60周年記念配当
 注) 平成30年3月期期末配当金の内訳 普通配当22円50銭 記念配当5円 東証一部指定記念配当

3. 平成30年3月期の連結業績予想(平成29年4月1日～平成30年3月31日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する当期純利益		1株当たり当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	27,600	12.8	2,000	31.7	2,000	46.6	1,400	59.7	167.77

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

注記事項

- (1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動) : 無
新規 社 (社名) 、 除外 社 (社名)
- (2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無
- (3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示
会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無
以外の会計方針の変更 : 無
会計上の見積りの変更 : 無
修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数(普通株式)

期末発行済株式数(自己株式を含む)	30年3月期3Q	9,112,000 株	29年3月期	9,112,000 株
期末自己株式数	30年3月期3Q	767,449 株	29年3月期	767,397 株
期中平均株式数(四半期累計)	30年3月期3Q	8,344,575 株	29年3月期3Q	8,344,642 株

四半期決算短信は四半期レビューの対象外です

業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

(将来に関する記述等についてのご注意)

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、現時点で入手可能な情報に基づき判断したものであり、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績等は様々な要因により、上記予想数値と異なる場合があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用に当たっての注意事項については、添付資料の2～3ページをご参照願います。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	3
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	3
2. 四半期連結財務諸表及び主な注記	4
(1) 四半期連結貸借対照表	4
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	6
四半期連結損益計算書	
第3四半期連結累計期間	6
四半期連結包括利益計算書	
第3四半期連結累計期間	7
(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書	8
(4) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	9
(継続企業の前提に関する注記)	9
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	9
(四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用)	9
(会計方針の変更)	9
(会計上の見積りの変更)	9
(セグメント情報等)	10

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する説明

当第3四半期連結累計期間におけるわが国経済は、政府の積極的な経済政策を背景に、企業収益や雇用及び所得環境に改善が見られる等、緩やかな回復基調の中で推移いたしました。

コンタクトレンズ業界におきましては、視力補正が必要な方々の生活においてコンタクトレンズが“必需品”として定着している環境を背景にして、1日使い捨てタイプへのシフトが続いていることや、遠近両用やサークルレンズの伸長等により、市場は緩やかながらも成長基調にあるものと推測されます。しかしながら、新素材商品のラインナップが多様化している事や遠近両用タイプのスペック拡充、サークルレンズカテゴリーへの新規参入が相次いでおり、メーカー間の競合は依然厳しい状態で推移しております。

このような状況の中、当社グループは、3ヶ年中期経営計画の最終年度となる2018年3月期につきましても、「販売戦略」、「商品戦略」、「生産・開発力強化」、「管理体制強化」を最重要施策として、変化する市場や将来の競争力強化に結実すべく積極的に経営資源を投下しております。

新しい生産施設建設によるさらなる製造能力の拡大や多品種少量生産への対応力強化、既存商品のスペック拡充等により、国産ならではの開発力、品質・安全性の高さをアピールしてシェア拡大に繋げ、収益性の改善、事業基盤の強化に努めております。また、海外輸出の拡大を通じて売上伸長を図っております。

この結果、売上高につきましては、コンタクトレンズが概ね順調に推移し、また、前期2月よりコンタクトレンズ小売事業を承継したことによる純増効果もあり、当第3四半期連結累計期間の売上高は20,869百万円(前年同期比14.5%増)となりました。利益につきましても、売上高の増加や生産効率の向上に伴う原価低減等により営業利益1,510百万円(前年同期比20.4%増)、経常利益1,569百万円(前年同期比36.1%増)、親会社株主に帰属する四半期純利益1,063百万円(前年同期比52.2%増)と増収増益となりました。

セグメントの業績は次のとおりであります。

(コンタクトレンズ・ケア用品)

純国産使い捨てコンタクトレンズのピュアシリーズにおいて、1日使い捨てタイプの近視用、乱視用、遠近両用や、2016年1月よりバージョンアップし、うるおい感を向上させた2週間交換タイプの「2ウィークピュアうるおいプラス」等を中心に、国産の品質力やきめ細やかな対応力を積極的にアピールしてまいりました。また、瞳を際立たせるサークルレンズ「シードアイコフレワンデーUV」の新色を12月に新たに追加し、テレビCMや交通広告をはじめ積極的な営業活動を展開してまいりました。

この結果、主力カテゴリーである1日使い捨てコンタクトレンズにおいては、「ワンデーピュアシリーズ」の乱視用や、近視・遠視用が伸長しております。また、サークルレンズカテゴリーも前年同期を上回っております。

ケア用品につきましても、流通在庫の消化や新規導入企業の獲得により前年同期を上回り、これにより全体の売上高は19,949百万円(前年同期比15.2%増)と増収となりました。

人件費や研究開発費の増加に伴い、販管費は増加しておりますものの、売上高伸長に伴う粗利益増加により営業利益につきましては、2,312百万円(前年同期比29.6%増)と増益となりました。

(眼鏡)

主力フレームの「ビビッドムーン」や「プラスミックス」を中心に、代理店の効率的な活用や展示会に出展する等、新販路の開拓や既存得意先での取引量拡大とともに、眼鏡レンズの販売終了により事業損益の改善に努めてまいりました。

しかしながら、大型チェーン店における主力フレームの出荷が伸び悩む等、売上高は671百万円(前年同期比7.0%減)となりました。また、国内最大の国際メガネ展示会「IOFT2017」に関する費用計上もあり、営業損失48百万円(前年同期営業利益0.2百万円)となりました。

(その他)

売上高は248百万円(前年同期比29.5%増)、営業損失31百万円(前年同期営業損失48百万円)となりました。

(2) 財政状態に関する説明

①資産、負債及び純資産の状況

当第3四半期連結会計期間末における資産の残高は、32,806百万円となり、前連結会計年度末から3,584百万円増加いたしました。主な要因として、鴻巣研究所3号棟の竣工、保育施設開設に向け、有形固定資産が2,634百万円(15,853百万円から18,487百万円)増加したこと、及びアイコフレの新色発売対応等で商品在庫が増加したためたな卸資産が487百万円(3,852百万円から4,340百万円)増加したことが挙げられます。

負債につきましては、22,710百万円となり、前連結会計年度末から2,494百万円の増加となりました。主な要因は、3号棟竣工に伴い設備支払手形等が2,131百万円(51百万円から2,183百万円)増加したこと、及び運転資金借入れにより短期借入金が1,003百万円(7,078百万円から8,082百万円)増加したことが挙げられます。

純資産につきましては、10,096百万円となり、前連結会計年度末から1,089百万円の増加となりました。主な要因として、増益により利益剰余金が増加したことが挙げられます。

②キャッシュ・フローの状況

当第3四半期連結会計期間末における現金及び現金同等物(以下、「資金」という。)は、1,623百万円となりました。当第3四半期連結累計期間における各キャッシュ・フローの状況とそれらの要因は、以下のとおりであります。

(営業活動によるキャッシュ・フロー)

営業活動の結果得られた資金は、2,165百万円(前年同期1,810百万円の収入)となりました。資金増加の主な要因は、減価償却費1,443百万円や未払金の増加280百万円が挙げられます。また、資金減少の主な要因は、たな卸資産の増加467百万円や法人税等の支払い550百万円であります。

(投資活動によるキャッシュ・フロー)

投資活動の結果使用した資金は、1,762百万円(前年同期2,617百万円の支出)となりました。これは主に、鴻巣研究所3号棟の竣工・設備導入、及び保育施設開設に向けた土地取得等に伴う有形固定資産の取得1,726百万円によるものであります。

(財務活動によるキャッシュ・フロー)

財務活動の結果使用した資金は、695百万円(前年同期1,956百万円の収入)となりました。資金増加の主な要因は、短期借入金の純増額1,139百万円であります。また、資金減少の主な要因は、長期借入金の返済1,338百万円やリース料の支払い766百万円であります。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

平成30年3月期の通期連結業績予想につきましては、当第4四半期において、当初予想どおり下期に負担増となっております研究開発費の投入等を予定しております。加えて、為替変動に伴う外貨建て預金の換算差額等の不確定要素もあるため、今後の動向を注視する必要があること等を勘案いたしまして、平成29年11月9日付「平成30年3月期通期業績予想の修正に関するお知らせ」で公表いたしました業績予想から、変更はありません。

2. 四半期連結財務諸表及び主な注記

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位:千円)

	前連結会計年度 (平成29年3月31日)	当第3四半期連結会計期間 (平成29年12月31日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	1,877,832	1,623,993
受取手形及び売掛金	3,869,628	4,032,791
商品及び製品	3,124,276	3,722,148
仕掛品	250,597	198,347
原材料及び貯蔵品	477,398	419,743
未収入金	356,040	599,056
その他	883,970	776,002
貸倒引当金	△126,392	△128,286
流動資産合計	10,713,352	11,243,797
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物(純額)	6,164,065	8,881,862
機械装置及び運搬具(純額)	1,019,608	1,139,843
土地	3,804,938	4,041,438
リース資産(純額)	3,878,931	3,291,696
建設仮勘定	706,222	779,019
その他(純額)	280,097	354,118
有形固定資産合計	15,853,864	18,487,980
無形固定資産		
のれん	1,020,833	889,583
その他	56,448	350,563
無形固定資産合計	1,077,281	1,240,146
投資その他の資産	1,578,010	1,834,890
固定資産合計	18,509,156	21,563,017
資産合計	29,222,508	32,806,815

(単位:千円)

	前連結会計年度 (平成29年3月31日)	当第3四半期連結会計期間 (平成29年12月31日)
負債の部		
流動負債		
支払手形及び買掛金	927,208	898,178
短期借入金	7,078,396	8,082,312
リース債務	1,398,457	1,104,591
未払法人税等	390,464	356,814
未払金	1,498,927	1,784,517
賞与引当金	405,633	220,286
設備関係支払手形	51,296	2,183,179
設備関係未払金	87,805	286,240
製品保証引当金	44,800	40,900
その他	185,508	283,123
流動負債合計	12,068,499	15,240,145
固定負債		
長期借入金	3,575,975	2,885,884
リース債務	2,774,613	2,726,607
退職給付に係る負債	1,617,225	1,662,728
役員退職慰労引当金	74,000	89,310
資産除去債務	100,060	100,312
その他	5,092	5,092
固定負債合計	8,146,966	7,469,935
負債合計	20,215,465	22,710,080
純資産の部		
株主資本		
資本金	1,841,280	1,841,280
資本剰余金	3,546,560	3,546,560
利益剰余金	3,913,299	4,740,459
自己株式	△435,989	△436,150
株主資本合計	8,865,150	9,692,149
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	225,280	461,101
繰延ヘッジ損益	25,949	24,900
為替換算調整勘定	26,549	26,774
退職給付に係る調整累計額	△135,887	△108,191
その他の包括利益累計額合計	141,893	404,585
純資産合計	9,007,043	10,096,734
負債純資産合計	29,222,508	32,806,815

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書
(四半期連結損益計算書)
(第3四半期連結累計期間)

(単位:千円)

	前第3四半期連結累計期間 (自平成28年4月1日 至平成28年12月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自平成29年4月1日 至平成29年12月31日)
売上高	18,227,788	20,869,477
売上原価	10,798,140	11,574,433
売上総利益	7,429,647	9,295,043
販売費及び一般管理費	6,175,346	7,784,891
営業利益	1,254,300	1,510,151
営業外収益		
受取利息	1,960	29,121
受取配当金	6,515	6,798
受取賃貸料	7,786	51,365
為替差益	—	48,778
売電収入	23,968	26,150
その他	35,518	48,648
営業外収益合計	75,749	210,863
営業外費用		
支払利息	77,681	86,350
賃貸費用	—	43,668
為替差損	77,807	—
その他	21,248	21,140
営業外費用合計	176,737	151,159
経常利益	1,153,312	1,569,855
特別利益		
固定資産売却益	31	1,009
特別利益合計	31	1,009
特別損失		
固定資産売却損	19,193	—
固定資産除却損	35,333	20
特別損失合計	54,526	20
税金等調整前四半期純利益	1,098,817	1,570,843
法人税、住民税及び事業税	339,667	473,378
法人税等調整額	60,249	33,584
法人税等合計	399,916	506,962
四半期純利益	698,901	1,063,881
非支配株主に帰属する四半期純利益	—	—
親会社株主に帰属する四半期純利益	698,901	1,063,881

(四半期連結包括利益計算書)
(第3四半期連結累計期間)

(単位:千円)

	前第3四半期連結累計期間 (自平成28年4月1日 至平成28年12月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自平成29年4月1日 至平成29年12月31日)
四半期純利益	698,901	1,063,881
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	17,757	235,820
繰延ヘッジ損益	308,873	△1,049
為替換算調整勘定	26,603	225
退職給付に係る調整額	65,999	27,695
その他の包括利益合計	419,234	262,692
四半期包括利益	1,118,135	1,326,573
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	1,118,135	1,326,573
非支配株主に係る四半期包括利益	—	—

(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書

(単位:千円)

	前第3四半期連結累計期間 (自平成28年4月1日 至平成28年12月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自平成29年4月1日 至平成29年12月31日)
営業活動によるキャッシュ・フロー		
税金等調整前四半期純利益	1,098,817	1,570,843
減価償却費	1,376,779	1,443,100
のれん償却額	—	131,249
貸倒引当金の増減額(△は減少)	40,951	96,963
退職給付に係る負債の増減額(△は減少)	72,620	85,419
賞与引当金の増減額(△は減少)	△122,756	△187,296
製品保証引当金の増減額(△は減少)	7,600	△3,900
役員退職慰労引当金の増減額(△は減少)	△3,040	15,310
受取利息及び受取配当金	△8,475	△35,920
支払利息	77,681	86,350
固定資産売却損益(△は益)	19,161	△1,009
固定資産除却損	35,333	20
売上債権の増減額(△は増加)	△88,861	△254,705
たな卸資産の増減額(△は増加)	△73,927	△467,160
未収入金の増減額(△は増加)	△34,727	△241,350
仕入債務の増減額(△は減少)	△132,014	△40,504
未払金の増減額(△は減少)	439,513	280,073
未払消費税等の増減額(△は減少)	△495,296	190,794
その他	33,362	36,731
小計	2,242,721	2,705,010
利息及び配当金の受取額	8,475	35,920
利息の支払額	△76,532	△85,156
法人税等の支払額	△367,971	△550,212
法人税等の還付額	3,561	60,398
営業活動によるキャッシュ・フロー	1,810,255	2,165,959
投資活動によるキャッシュ・フロー		
保険積立金の解約による収入	12,664	—
有形固定資産の取得による支出	△1,885,411	△1,726,378
有形固定資産の売却による収入	3,610	9,195
投資有価証券の取得による支出	△74,805	△10,876
貸付けによる支出	△239,593	△17,780
貸付金の回収による収入	6,307	24,852
敷金及び保証金の差入による支出	△1,136	△27,242
敷金及び保証金の回収による収入	20,847	24,107
資産除去債務の履行による支出	△53,000	—
その他	△407,298	△37,901
投資活動によるキャッシュ・フロー	△2,617,815	△1,762,024
財務活動によるキャッシュ・フロー		
短期借入金の純増減額(△は減少)	2,647,028	1,139,490
長期借入れによる収入	1,709,760	500,000
長期借入金の返済による支出	△1,515,076	△1,338,296
自己株式の取得による支出	△79	△160
配当金の支払額	△187,186	△229,867
リース債務の返済による支出	△697,674	△766,596
財務活動によるキャッシュ・フロー	1,956,771	△695,430
現金及び現金同等物に係る換算差額	86,952	△1,782
現金及び現金同等物の増減額(△は減少)	1,236,164	△293,277
現金及び現金同等物の期首残高	2,028,853	1,877,832
合併に伴う現金及び現金同等物の増加額	—	39,438
現金及び現金同等物の四半期末残高	3,265,017	1,623,993

(4) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用)

該当事項はありません。

(会計方針の変更)

該当事項はありません。

(会計上の見積りの変更)

該当事項はありません。

(セグメント情報等)

【セグメント情報】

I 前第3四半期連結累計期間(自平成28年4月1日至平成28年12月31日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:千円)

	報告セグメント			その他(注)	合計
	コンタクトレンズ・ケア用品	眼鏡	計		
売上高					
外部顧客への売上高	17,313,657	722,169	18,035,827	191,961	18,227,788
セグメント間の内部売上高又は振替高	—	—	—	—	—
計	17,313,657	722,169	18,035,827	191,961	18,227,788
セグメント利益又は損失(△)	1,784,278	207	1,784,486	△48,633	1,735,852

(注)「その他」の区分は、報告セグメントに含まれないセグメントであり、眼内レンズや携帯電話事業等を含んでおります。

2. 報告セグメントの利益又は損失の金額の合計額と四半期連結損益計算書計上額との差額及び当該差額の主な内容(差異調整に関する事項)

(単位:千円)

利益	金額
報告セグメント計	1,784,486
「その他」の区分の損失(△)	△48,633
全社費用(注)	△481,551
四半期連結損益計算書の営業利益	1,254,300

(注)全社費用は、主に報告セグメントに帰属しない提出会社の総務部や経理部、情報システム部等の管理部門に係る費用であります。

3. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報
該当事項はありません。

II 当第3四半期連結累計期間(自平成29年4月1日至平成29年12月31日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:千円)

	報告セグメント			その他(注)	合計
	コンタクトレンズ・ケア用品	眼鏡	計		
売上高					
外部顧客への売上高	19,949,051	671,743	20,620,794	248,682	20,869,477
セグメント間の内部売上高又は振替高	—	—	—	—	—
計	19,949,051	671,743	20,620,794	248,682	20,869,477
セグメント利益又は損失(△)	2,312,648	△48,946	2,263,701	△31,832	2,231,869

(注)「その他」の区分は、報告セグメントに含まれないセグメントであり、眼内レンズや携帯電話事業等を含んでおります。

2. 報告セグメントの利益又は損失の金額の合計額と四半期連結損益計算書計上額との差額及び当該差額の主な内容(差異調整に関する事項)

(単位:千円)

利益	金額
報告セグメント計	2,263,701
「その他」の区分の損失(△)	△31,832
全社費用(注)	△721,718
四半期連結損益計算書の営業利益	1,510,151

(注) 全社費用は、主に報告セグメントに帰属しない提出会社の総務部や経理部、情報システム部等の管理部門に係る費用であります。

3. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報
該当事項はありません。